

人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

mamori

No.10
Autumn 2011

特集 Life with Wood

木はもう一度 生まれかわる

付録 おやこ、ともだちで楽しむ
mamoriかるた2

木と本と The tree and the book

家族で楽しめる、高知山の施設

森からの贈り物

山と高知のちょっといい話
もりからの伝言板



イロハカエデ(伊呂波カエデ)

カエデ科の落葉高木
樹高:10~15メートル 花期:4月~5月頃
紅葉シーズンの人気者イロハカエデ。やや横に広がった樹形で、オオモミジやヤマモミジと比べて、すこし小さい葉が特徴です。名前は5~7つにわかれた葉を「いろはにほへと」と数えたことに由来しています。



オンツツジ(雄躑躅)

ツツジ科の落葉低木
樹高:3~6メートル 花期:4月~5月頃
ミツバツツジの仲間、西日本のあたたかい地域でよく見かけます。メンツツジが女性的で小さな藤色の花を咲かせるのに対し、オンツツジは大きい朱色の花を咲かせるので、メン(雌)、オン(雄)の名がつけました。



コナラ(小楢)

ブナ科の落葉高木
樹高:8~20メートル 花期:4月~5月頃
ドングリの実がなり、成木の幹はたての亀裂が入ります。昔から炭の材料やシイタケの原木として使われ、私たちの生活のそばにありました。近頃はくいだいたチップやペレットが暖房器具の燃料として利用されています。



センダン(梅檀)

センダン科の落葉高木
樹高:5~15メートル 花期:5月~6月頃
羽状に並んだ葉が、さらに羽状になり(2回羽状複葉)、1枚の葉をつくっているセンダン。こういった葉は、タラノキやネムノキなどでも見られます。高知では、平安時代から続くオウチという別名で呼ぶ人もいます。



付録

おやこ、ともだちで楽しむ
mamoriかるた2

撮影協力(監修)/高知県立牧野植物園
企画展ご案内「植物を知らう!」
期間/2012年4月8日(日)まで開催中
<http://www.makino.or.jp>



タラヨウ(多羅葉)

モチノキ科の常緑高木
樹高:10~20メートル 花期:4月~5月頃
タラヨウは、4月~5月頃、葉のつけ根に黄緑色の花をつけます。雄株と雌株があり、雌株には赤い実がなるのが特徴です。文字が書けることから、郵便局の木に指定されていて、葉書の木とも呼ばれます。



バクチノキ(博打の木)

バラ科の常緑高木
樹高:10~15メートル 花期:9月頃
9月頃に白い花をたくさんつけるバクチノキ。ある程度大きくなると樹皮がうろこ状にはがれ、赤褐色の木肌が見えてきます。その様子を博打に負けて衣をはがされることになぞらえ、この名がつけられたとされています。



ヤブツバキ(藪椿)

ツバキ科の常緑高木
樹高:3~8メートル 花期:2月~4月頃
赤い花の美しさから、八重咲きなど園芸用の品種が多くつくられているヤブツバキ。果実からは、髪につけるツバキ油がとれます。厚くてつやがあり、厚葉木、つや葉木という言葉からツバキと名づけられたそうです。



ヤマザクラ(山桜)

バラ科の落葉高木
樹高:3~18メートル 花期:3月~4月頃
代表的なサクラの野生種で、身近な里山で見ることができます。日本の和歌に多く詠まれたり、家具の材料としても人気があります。花と赤い若葉が同時に開くのが特徴で、これがソメイヨシノとちがう点です。



木と本と
The tree and the book



森さん、川さん、海さん、
大切な心を教えてくれて、
ありがとう。

「わたしの話を聞いてくれる
かい？」犬のジェイクが海、
川、森の声を聞き、対話を続

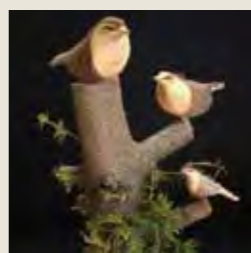
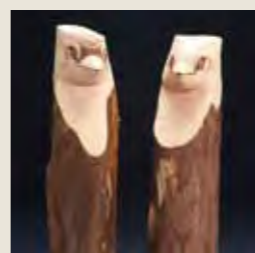
けながら旅を続けていくの
が、葉祥明さんの「森が海を
つくる」という絵本です。ジ

ジェイクという犬のキャラ
クター、ジェイクの言葉は犬
の足跡でかわいく表示され、
キレイな絵はどの世代から
も愛されておりクオリティの
高い絵本です。

高知は山と川と海がとて
も近い距離にあり、互いに深
く関わっていることが比較的
わかりやすいと思います。こ
の絵本は森林環境教育の話
をするうえで参考になる一
冊として、かなり前に購入し
ました。子供たちの前で「山
川海のつながり」の話をしま
すが、言葉だけでは伝わらな
いことがあります。そんなと
き、絵本が持つ伝えるチカラ
はいいですね。ご家庭で、親
子で声を出し合って読んで、
森の大切さを感じてほしい
です。

今回おすすめの本を紹介してくれた人

高知県立森林研修センター 情報交流館職員 堀田 幸生さん



バードカービング(木で作る野鳥の彫刻のこと)作家の堀田さんは、廃棄予定の木(雑木)を使い、かわいい小鳥をつくります。小鳥の表情は、絵の具は使わず、焼きごてで木の表面を焦がして描いていこうです。木の色、匂い、質感などがそのまま残る堀田さんの作品は、どこか安らぎや癒いを感じます。

高知県立森林研修センター 情報交流館
【住】香美市土佐山田町太平80
【電】0887-52-0087

特集

木はもう一度 生まれかわる

Life with Wood

「山が大事だね」ということは理解できても、

それを私たちの生活に結び付けることは難しい？

いえいえ、こんな風に考えてください。

山で遊ぶことで草木や虫と友だちになり、

県産材でつくった生活用品を使うことで、

山にお返し(振興)ができますよ。

今回の特集は、県産材を活用した

生活用品をつくる森林組合や、学校施設について紹介します。



「mamori」は森林の大切さ、森林環境税の重要性を伝える冊子です。

高知県は森林環境税を活用した間伐等による森林保全や、森林環境教育等を推進しています。そして県民みんなで県土の84%を占める「森林の将来」を考えてほしいと願っています。

「森と共に暮らし、育む。」
大正町森林組合が認証を受けた
4つのマーク。

FSCマーク
国際的な機関である森林管理協議会が認証。適切に管理された森林と、その森林から生産された木材を使って作られた製品にこのマークがついています。

SGECマーク
「緑の循環」森林認証制度。日本の森林を守るため、日本の現状にあわせてつくられた森林管理の基準に適合した森林と製品にこのマークがついています。

間伐材マーク
全国森林組合連合会が、間伐材利用の重要性等を知ってもらうことを目的に、そのPRや、間伐材の使用基準が認められた製品につけられています。

JASマーク(日本農林規格)
JASとは農林水産大臣が定めている、品位、成分、性能等の品質の規格。そのJAS規格を満たしていると認められた食品や林産物などについています。

集成材って
なあに？

集成材は、厚さ2~3センチほどに製材した板を、繊維方向を平行にそろえて重ね、接着剤で貼り合せて一つにした建材のことです。



集成材工場の入り口には酒樽があり、四万十ヒノキ製品を展示した「ギャラリー」になっています。自由に見学ができますので、スタッフに一声おかけください。



農業なら失敗しても1年で修正できるが、林業は四十年かかる。それだけに我々の責も重たいと自覚している田村耕一さん。

道の駅「四万十正」の近く、四万十川の川面を臨む帯に広がる「結の森」。この美しい場所で、コクヨグループと地元の人たちが協力して、森を守り育てる取り組みをしています。



case

間伐材に新しい命を吹き込んだ。
大正町森林組合

全国でもいち早く間伐材マークを表示し、FSC森林認証を取得したり、大手文具メーカー「コクヨ」と共同事業を行うなど、大正町森林組合の挑戦は続いています。そのベースにあるものは、「四万十ヒノキの間伐材、一本一本に至るまでの有効活用」です。

木は捨てるどころがありません。

「私たちの森林組合で植林している木のほとんどが四万十ヒノキです。しかし木材の市場価格の低迷で、端材や曲がり材など間伐してもそのまま山に放置されてきました。そんな捨てられた間伐材をそのままにはできないし、これからも間伐は必要だから、これらの木を有効活用しよう。もう一度新しい命を与えよう。その考えが集成材工場につながりました。もったいないから利用する、捨てられたものを再生して山へ還元するということが基本的な考えです。」

「森林と共に暮らし、育む。」を標榜する大正町森林組合で、事業全般を指揮する参事の田村耕一さんに会いました。

大正町森林組合は一九五二年に設立。八九年に集成材工場が開設。当初はフローリングなどが主流でしたが、九九年に塗装部門、二〇〇九年に加工部門ができ、全国的にも大規模な工場となりました。また〇一年に全国でもいち早く「間伐材マーク」を取得し、組合の姿勢をアピールしました。その後「JASマーク」をはじめ、間伐材を利用する木材資源の有効活用と併せて、持続可能な

和也さんと、製品の企画やPRをする高橋康太さんに話を伺いました。

「集成材にしていくなかで注意する点は木の乾燥です。四万十ヒノキの特徴は木肌が微妙なピンクを含んだ綺麗な木肌で、その良さを損なわない乾燥の仕方をしています。天日乾燥、低温乾燥で時間をかけ、しっかりと乾燥することで、木肌の美しさや香りを生かしたものに仕上がります。また、営業チームが全国にいるいるな所をまわっているなかで、ご意見を頂き、それを職人含め皆でミーティングして、加工製品の工夫を重ねて来ました」といいます。高橋さんは工場長の前に、加工の現場班長をしており、クライアントが求める製品づくりの難しさを体感していました。

高橋さんは高知市内の家具店と一緒に三十点程度四万十ヒノキの家具、小物をつくるなど、製品づくりの企画や販売をしています。「HP等広報では、家具のイメージに合わせてスマートでシンプルなデザインにしています」と笑顔で話してくれました。

使いなさい！というだけではダメ。

大正町森林組合はこれまでも間伐材を入れ、県内で最も進んだ地域でした。そして大手文具メーカー「コクヨグループ」と間伐材を利用した商品の事業提携、現在は「コクヨ・四万十・結の森」として、間伐材に対してのサポート(協賛金)を受けており、田村さんは「これまでに間伐材のスピードが加速した」といいます。

森林管理、環境への配慮などを認定する「FSCマーク」「SGECマーク」の認証も受けています。

現在、市場価格の高い材は北ノ川貯木場から住宅資材用として製材工場へ出荷。それ以外が集成材工場へ運ばれ、集成材や、集成材家具などの製品として出荷されます。田村さんは「もったいない」を徹底しているといいます。

「木を切れば必ずおがくずが出ます。樹皮、割れ材、端材など、集成材として活用できないものは、木材乾燥用のバイオマスボイラーの燃料にしています。できるだけ無駄が出ないようにしたいし、ウチの組合員は積極的に考えてくれますね。集成材は普通の板より価格がまだ高く、そこが問題なんです。でもきっちり乾燥させているので狂いはないし、強度もあります。また、営業担当がお客さんとお話するときは、「この集成材家具の製品を買って頂いたらCO2の吸収がこれくらいあります。間伐がもっと進めば、綺麗な四万十川に戻っていく、そんな貢献にもなります」と説明しています。」

木肌の美しさ、香りを生かす。

集成材工場に移動し、工場長の廣田

「今の一番の問題は、木は成熟していくだけでも伐り出せませんが、木材価格が安くて採算が合わないということです。だから価格をあげるためには、もっと国内で木材を使ってほしい。『公共建物等木材利用促進法』という法律はできたけど、使わないといって罰則があるわけではないし、使いなさい！というだけではダメ。該当する建物なら例えば補助金を多く出すなど考慮してくれば、木材利用の促進につながると思います。」

端材や曲がり材、間伐材など市場価値の低い木に新しい命を吹き込む！常勤四十名、そのほかパートなど合わせて計で八十名のスタッフと共に、大正町森林組合の挑戦はまだ続きます。



大正町森林組合
高岡郡四万十町大正475-2
TEL.0880-27-0119
大正町森林組合集成材工場
高岡郡四万十町瀬里57-3
TEL.0880-27-0175
http://www.shimantohinoki.or.jp/



教室内の机・イスは、森林環境税を活用した「木の香るまちづくり推進事業」によって導入されています。



鉄筋構造の体育館ですが、天井部は「ラメラーフ」という手法で、ヒノキの集成材が網の目のように重ねられ、木の強さと美しさを感じさせ、圧倒されます。



樹齢百年の町内産ヒノキを五三〇本。

「四年前から校舎立て直しの話があり、町や教育委員会、PTA、民間の委員、そして私も久礼中学校などがメンバーとなり内容を検討してきました。中土佐町産のヒノキやスギをふんだんに使い、温かさを感じる校舎にしようという案に皆が賛成でした。そして、四十年前まで見通した耐震性のことを考え、一階は鉄筋コンクリート、二階は木造という混構造となっています。しかし一階は、鉄筋コンクリート造りをまったく感じさせないくらい木が使われていますよ。」

中土佐町立久礼中学校の吉岡優誠校長が校舎を案内してくれながら、説明してくれました。久礼中学校は老朽化にともない、新たに校舎二棟と体育館を新築。普通教室棟は一階が多目的ホールや家庭科室、職員室などがあり、室内の壁や床にはヒノキやスギの無垢材が使われ、鉄筋でありながら木の優しさや香りを残しています。二階は一年生から三年生の教室、図書室、理科室などです。が、樹齢百年の町内産ヒノキを五三〇本使用し、八寸角（二十四センチ）の柱が百四十本並び、梁は伝統建築様式でつくられています。特別教室棟、体育館も同



エンソンス(玄関)は吹き抜けて、円形にデザインされています。木の優しさと併せて、特徴ある校舎となっています。

椅子も机もこだわりました。

吉岡校長と校舎をまわっている途中、三年生の女子生徒に感想を聞きました。彼女たちは入学時から校舎建て替えたため、旧須崎高校久礼分校で学び、この九月に初めて久礼中学校に来ました。「木の校舎にびっくりしています。教室に明るさがあり、とてもいい気持ちで落ち着いて勉強ができます」といいます。吉岡校長が「椅子の座り心地はどう?」と聞き、座面の小さなクボミや背もたれの工夫などを話し、生徒も「そうなんだ」と納得していました。椅子ひとつひとつも生徒のことを中心に考えて発注したといいます。

「木の校舎は湿気を取り除くし冬は暖かいですよね。せつかく中土佐町産の木でつくった快適な校舎なので、生徒たちが集中して勉強に打ち込める環境にしようと考えました。またソーラーパネルやクーラーの設置も実現しました。」

久礼の町のシンボルとして。

新しい久礼中学校は「町の中核校」という位置づけだけでなく、久礼小学校との小中連携、南海地震をはじめとする災害時の避難所、地域の老人会など地

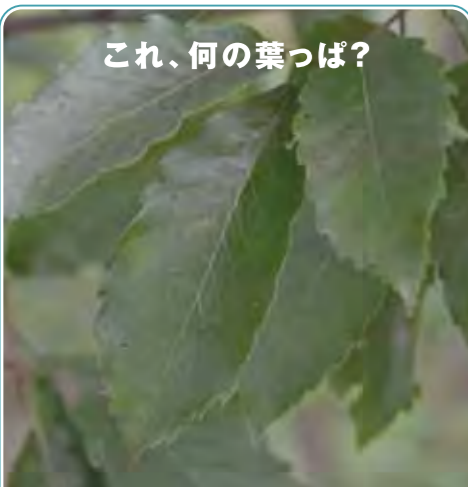
case 2 県産材(中土佐町産)は生徒に夢を届けた。中土佐町立久礼中学校

八月に完成したばかりの中土佐町立久礼中学校は、今年度の優良木造施設として林野庁長官賞を受賞。地元産のヒノキやスギをふんだんに使い、校舎のいたるところに間伐・集成材が活用されました。県産材(中土佐町産)、すごいです!

校舎建設、グランド整備に時間がかかり、今年春卒業した生徒たちは新校舎に間に合いませんでした。それが申し訳ないと吉岡優誠校長は「君たちは幻の一期生だ」と、工事の合間に、卒業アルバムの写真だけは皆で撮ったといいます。



中土佐町立久礼中学校
高岡郡中土佐町久礼7753
TEL.0889・52・2811



これ、何の葉っぱ？

葉っぱの長さは10センチくらいで、ふちは大きなギザギザになっているんだ。2センチくらいの実をつけ、樹液を吸いにカブトムシもよくやってくるよ。身近な林でよく見かける木だね。



これ、何の葉っぱ？

5〜9センチくらいの卵形で先がとがっているんだ。それが枝先に3枚、輪になって並んでいるよ。葉っぱのうらや柄にはうす茶色の毛が生えているのが特徴。4月〜5月くらいに朱色の花が咲くんだ。



これ、何の葉っぱ？

葉っぱの長さは4〜6センチで、手のひらのような形をしているよ。わかれた葉っぱのふちは、のこぎりの歯みたいになっているよ。紅葉がきれいなことで有名で、山だけでなく公園や街路樹、お寺でもよく見かけるよ。



これ、何の葉っぱ？

葉っぱはとても厚くて、ふちはとげとげになっているんだ。長さは12〜20センチくらいだよ。うらに爪楊枝なんかで字を書くと、5分もすれば黒い文字が浮かび上がるよ。お寺や公園、郵便局などで見かけるよ。

付録

おやこ、ともだちで楽しむmamoriかるた2

これ、何の葉っぱ？

高知でよく見る木の葉っぱだよー
さっし学校のみわりや、
近くの公園、山にあるよ。
葉っぱのかたちをおぼえて
さがしてみよう。
うらには木の名前の特徴が書かれているよ。

葉や木の大きさは、違う場合もあるので、めやすにしてね



これ、何の葉っぱ？

葉っぱのふちが細かいギザギザになっている、先は細く伸びているんだ。葉っぱの柄には蜜を出すイボ(蜜腺)があって、アリがやってくるよ。幹に横向きのすじが入っているんだ。3月〜4月頃にきれいな花が咲くよ。



これ、何の葉っぱ？

長さが6〜12センチくらいの葉っぱで、つやがある深緑色をしているよ。厚くて、かたいのが特徴で、葉のさきちょがとがっているんだ。冬から春にかけて赤い花をつけるよ。公園や庭、街路樹などでよく見かけるよ。



これ、何の葉っぱ？

葉っぱの長さは10〜20センチくらいで、厚くて光沢があるんだ。ふちはすどいギザギザになっているよ。大きくなると、幹の皮がはがれおちるんだ。海沿いや、あたたかい地域の山に生えているよ。

森林環境税シンポジウム開催のお知らせ

高知県では、平成15年度に全国で初めて森林環境税を導入し、森林環境の保全をはじめ、県民参加による森づくり活動や、森林環境教育、シカ被害対策などに同税を活用しています。

その森林環境税の課税期間が平成24年度末で満了することから、県では、今後の森林環境税のあり方について、県民のみなさんとともに考えるシンポジウムを下記のとおり開催します。

シンポジウムでは、森林環境税のこれまでの取り組み紹介や基調講演、ワークショップなどを行います。入場料は無料です。多くの県民のみなさんの参加をお待ちしています。

日時
平成23年11月20日(日)
13時〜17時

場所
高知県共済会館3F大ホール「桜」
(高知市本町5丁目3-20)

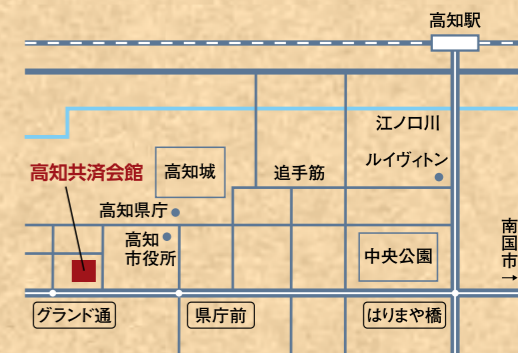
プログラム

- 【第一部】森林環境税のこれまでの取り組み紹介、基調講演
- 【第二部】「今後の森林環境税のあり方」を検討するワークショップ
- 【第三部】ワークショップとりまとめ



【お問い合わせ先】

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目7番52号
高知県庁西庁舎4階
高知県林業振興・環境部 林業環境政策課 木の文化担当
TEL.088-821-4586 FAX.088-821-4576
E-MAIL / 030101@ken.pref.kochi.lg.jp



※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用いただくか、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

【表紙は語る】どんぐりの木



表現活動を通じて、障害のある人たちが本来の自分になれることや、社会全体が美しい空間になれることを願って活動している「アートセンター画業」(高知市)で、作品を創作している鎌倉あけみさんにオリジナルの表紙を描いて頂きました。秋のどんぐりの木をモチーフに、5分もかからず下書きを仕上げ、一気に色づけしました。あけみさんはどんぐりの帽子と葉っぱが気に入っています。

鎌倉 あけみ Kamakura Akemi

彼女の作品は、考えるより先に心の向くまま、画面に顔を近づけ、一心に描きます。たつぷりと筆に絵具をつけ迷いなく筆を走らせるその線は、彼女にしか出せない手の痕跡が残る。ものの5分で作品を仕上げる時の表情は真剣そのもの。開放的で自由な絵がそこには表現されています。



高知県林業振興・環境部 林業環境政策課
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目7番52号
TEL / 088-821-4586 FAX / 088-821-4576
E-Mail / 030101@ken.pref.kochi.lg.jp
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/



森林環境税は、県民みんなが負担することで森とのかかわりを認識し、森を守っていくという森林保全を目的とする高知県の税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担をいただいております。発行日/2011年10月 制作・編集/クリケット「季刊高知」編集部 with ゴーゴーデザイン 門田幹也

この冊子は再生紙を使用し、大豆インクで印刷しています。



アンケートにご協力下さい

- 高知県の「森林環境税」を知っていましたか。
①内容なども良く知っている ②名前は知っているが内容はあまり知らない ③知らない ④その他
- 本誌をどちらで入手しましたか。
①学校、幼・保育所などの教育機関 ②観光施設や道の駅、直販所など ③図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設 ④スーパーや飲食店、美容院など ⑤その他
- 今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(複数可)
①特集 ②木と本と ③家族で楽しめる高知・山の施設 ④もりからの伝言板 ⑤森からの贈り物 ⑥mamoriかるた ⑦別のことを取り上げてほしい(例えば)
- 森林環境税の取り組みなどの中で、ご存じの事業に○印をおつけください。
 森林環境税情報誌「mamori」による広報や県広報による情報発信
 森林や山を守るための県民自らによる主体的な活動への支援
 子供たちへの森林環境学習への支援
 間伐などによる森林整備の実施
 地域住民の方々による荒廃した里山や竹林などの整備(間伐など)
 公共的施設の本質化などによる山の暮らしを支える森づくりへの支援
 シカ被害対策など森林環境に配慮した取り組みへの支援
- 本誌を読んで森林環境税の理解が深まりましたか。
①良く理解できた ②少しは理解できた ③よくわからない ④その他
- 森林環境税の仕組みや使いみちを全体として評価するとすれば、次のうちどれに当てはまりますか?
①賛成 ②反対 ③わからない
- 森林環境税は、課税期間が平成25年3月末で終了します。その後も、森林環境税の課税期間を延長することについて、どのように考えますか。
①賛成 ②反対 ③わからない
- 7で、賛成とお答えいただいた方にお伺いします。森林環境税は、現在年額500円ですが、どの程度までの負担が妥当と思われますか。
①500円 ②1,000円 ③1,500円 ④2,000円 ⑤その他()円
- 森林環境税を活用して、今後、取り組んだりよいと思う事業がありましたらご記入ください。

*アンケートへのご協力、有難うございました。